

【準特選】

個性を大切に作る社会づくり

東部中学校 三年 光武 一華

私は、これからの社会では性別関係なく誰もが自分の好きな服を自由に着れるような社会にしていくべきだと思います。

私は、今まで小学校、中学校と過ごしてきました。これまで過ごしてきた中での制服は男子はズボンで女子はスカートをはいていました。男子がスカートをはいている所を私はあまり見たことがありません。私は今まで生活してきた中で疑問に思ったことがあります。それは、私服を含め女子はズボンを履いていても周りからは何も言われたりしません。男子がスカートを履いていると周りから「どう

して「えっ」と言われることもあるということです。私も男子がスカートを履いていると、そう思ってしまいそうな気がします。私が、インターネットで調べて最近知ったことは、一部の学校では男女混合の名簿を使用することやトイレの表記の色を黒に統一すること、係活動で男女の区別をなくすこと生徒や児童の呼び方を「さん」に統一といった取り組みが行われていることがわかりました。その他にも日本各地において「制服ジェンダーレス化」も広がっており、スカートやスラックス、リボンやネクタイなども自由に選べる学校が増えているということです。その他にもトイレの表記を男性は青や黒、女性は赤と人々にある固定観念を崩し全て黒で統一して、色での違いをなくそうとしている所が凄いなと思いました。そして「制服ジェンダーレス化」では最初から男子はズボン、女子はスカート

と決めておくのではなく、男子も女子も自分が着たい服を自由に選べるようにしている所がいいなと思いました。私は心も体も女性でこれまでで性別によって悩んだことはないけど世界には心は男性だが体は女性や心は女性だが体は男性など、心と体の性別が同じではない人が沢山いて、性別で悩んでいる人も沢山います。そんな中で、トイレの表記や「制服ジェンダーレス化」などの取り組みが行われていて私はとてもいい取り組みだなと思いました。そして最近では男性と女性ではなく、男性と男性や女性と女性など、同じ性別同士で結婚する人達があります。私は、性別で結婚する相手を決めるのではなく、性別関係なく自分がこれらの生活を一緒に暮らしたいと思える相手を生涯のパートナーとしている所がいいなと思いました。

服装はその人の個性がでる所だと思います。誰もが性別

関係なく、自分の好きな服を自由に着れるような社会にしていきたい、みんなが相手に対して理解をし、敬意を持って接することが出来れば、沢山の人が自分に自信を持つことができ、自分らしく個性を生かし楽しく生活することが出来ると思います。私もこれからは全ての人に対して理解をし、敬意を持って接し、個性を大切にできる人になりたいです。これからの社会では、男性らしさ、女性らしさにライフスタイルを、みんなでつくっていく、誰もが暮らしやすい世界にしていきたいことが出来たらいいなと思います。